

7/12の第2次目標達成(25%・50万筆)めざし、地域、職場でさまざまな取り組み!

教育基本法、共謀罪、国民投票法の採決強行をさせない運動が各地で起こりました。憲法改悪反対の運動と連携して取り組まれ、地域、職場では、「平和、憲法守れ」の取り組みが着々とすすんでいます。各団体からレポートを寄せていただきました。

化学一般

6月17日(土)に地本青年部、女性部が「平和学習会&昼食交流会」を共催し、「映像で見るイラク最新情報」をジャーナリストのイサム・ラシードさんを迎えて学習しました。マスコミが報道しないイラクの現状の画像は衝撃的で、「残酷だ」「アメリカの身勝手に怒りをおぼえた」「自衛隊は人道支援の何の足しにもなってない」「自民党や創価学会、民主党のところにもいってみてもらおう」などの感想が寄せられました。参加者は、31名でした。(桜井)

全港湾阪神支部

5月27～28日、みのたにグリーンスポーツホテルで第18期支部労働学校を開催し、各分会の20～40歳代(全港湾阪神支部三四労の会)の組合員113人が参加しました。

今回の労働学校は日本国民救援会大阪府本部から伊賀副会長を招き、国歌・国旗の強制問題から、警察の冤罪事件や温床となる代用監獄など国家権力の横暴と共謀罪による民主団体並びに労働組合への弾圧と人権問題も含めた全てが、憲法改悪につながる危険性について講義して頂きました。「ビラを配布しただけでつかまる事件がここ2～3年ふえてきている。憲法を変える動き等々、言論の自由がうばわれるというか、戦争をする国にする体制作りが、ものすごい早さで作られようとしているのを強く感じる。」「一市民として絶対の信頼をおいている警察等の事実を聞いて不信になった。」「講義の内容の中でも、代用監獄制度、留置場の恒久化について関心を持ちました。国は憲法9条を変える事を最終目標に、言論表現の自由を奪おうとしている事に対し、反対の声を今まで以上にもっと声を上げようと思わないといけないと思う。」「代用監獄、共謀罪の改悪の内容については、日本国憲法が制定されているところに矛盾して強行しようとしているのが許されず、今回の講義の内容を聞いてあらためて、反対するべきだと思いました。平和行進は毎年実施され、活動を通じて反戦、平和を訴えていく運動を展開していただきたいと思います。」など参加者の声がありました。(尾上一彦)

生協労連

「第3回憲法スクーリング」を6月17日に開催。内容は、「第3章人間らしく生き、働くために～基本的人権と団結～」でした。今回は、24名の参加でそのうち6名がはじめての参加でした。そのうちの3名の方が「勤通大憲法特別コースを受講します」との返事をいただきました。今回もたくさんの方が感想を出してくれました。「憲法には、こと細かく様々な国民を守るための条文があるんだなと思いました。この憲法をなにがなくても守らなければ。」「学習会等、先生の話聞いたら元気になる。職場での不条理？な空気を突き崩したいとおもう。職場がまわらないから無理を聞かすにはおられないという空気。できないと拒否ばかりしては仕事なくなる...etc 踏ん張りどころである。」「憲法の話は語れば語るだけ理解は広がるものだから、ということその通りだと思います。まだまだ語れてないなと思いますし、自信をもって語るためにも学習して確信を深めたいと思います。」「国民の権利のことがこと細かく書いてあるなあ。しかし、それが実際に守られていれば世の中暮らしやすいし、愛国心も育まれるのではと思う。餓死する人がいるなんて本当に日本は文明国なんか！」など、学んで知ることが元気の素です。(土橋 豊)